

子育てフェスティバル in いみず



平成28年11月23日（水）勤労感謝の日に小杉社会福祉会館にて2016「子育てフェスティバルinいみず」が開催され、私たち推進委員会も準備から当日の運営・ワークショップ並びにステージ発表に関わらせていただきました。

この事業は、昨年（平成27年度）射水市制10周年目の節目に「子育て・子育て」を応援している射水市内14団体による共同事業で開催され、今年2年目となりました。

対象は「子育て中の親子・家族」の方々に当推進委員会は、ワークショップで子どもを対象に4つのキャラクター中から選んでもらい、色塗り・物語を書いてもらうミニ絵本づくりをしました。ステージ発表では親子・家族が興味を持ち楽しめる絵本の読み聞かせをしました。たくさんの子ども・父母・祖父母の方々がスクリーン前に集まり好評でした。

また、私たち推進委員会が主催した「男女共同参画川柳コンクール」の作品展示も行い、来場者の方々にもライフワークバランスや性別役割分担意識等、男女共同参画社会について考えていただける良いきっかけになったと思います。

これからも、他の団体と交流し多くの方々に男女共同参画社会実現の輪を広げていければ良いと感じました。

(M・Y)

男女共同参画川柳

最優秀賞 使われぬ 育児休暇が 欠伸する (江尻 昭)

優秀賞 どんどこい！ 食事洗濯 パパがやる！ (梶原 典明)

あふれる女子力 されど あなたおまえ 本音かな (嶋 和子)





活動日誌

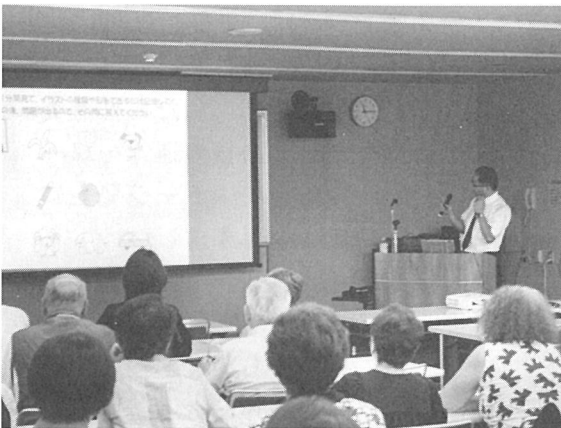
5月29日◎.....●手打ちうどん作り

ふたくちコミュニティセンターにて、親子三代80人で手打ちうどん作りを体験しました。最初に小麦粉と塩水を少しずつ混ぜてまるくまとめる事が大変。ビニール袋にに入れて足で踏みこねるのがとても楽しく、体重をかけて、めんぼうで外側に外側に広げて薄く延ばしたり、延ばした物を包丁で5mmぐらいの幅にきるのも難しかったです。細いもの・広いもの・短いもの・長いもの、大きな鍋で茹で、自分の



作ったうどんを食べると、いつものよりもこしがあって、とてもおいしかったです。次回は蕎麦やラーメンにも挑戦し家族にも食べさせてあげたいという声が聞かれました。生地をねかせている間、子供たちに本の読み聞かせをして楽しい時間をすごしました。(M・M)

8月25日◎.....●脳が若がえる脳トレーニング



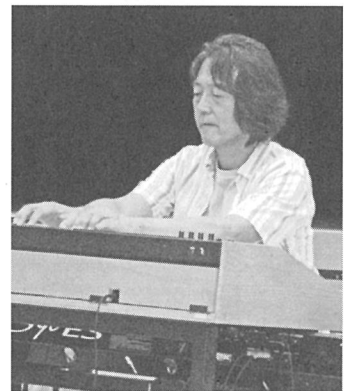
大島地区では、生涯学習講座との共催で出前講座を行いました。

富山短期大学 田淵英一先生による「脳が若がえる脳トレーニング」と題した講演会です。人間の脳の動き、病気予防の豆知識など難しいことを面白く分かり易く教えていただきました。また、実際に計算や間違い探し、漢字パズルなど挑戦していくうちに参加者の硬かった表情も笑顔いっぱいになりました。

先生からの「2時間前より20歳若返った」との嬉しい言葉を胸に、生き生きと自分らしく元気に暮らしていけたらいいなと思いました。(M・K)

8月26日◎.....●滝沢 卓 シンセサイザーコンサート

下村コミュニティセンターにて、滝沢 卓シンセサイザーコンサートを開催しました。演奏前に、資料を基に男女共同参画社会の実現をめざしての基本計画の伝達を行いました。コンサートでは、オリジナル曲で命の尊さを感じ、自分の住ましている地域について見直す機会になりました。秋の童謡メドレーでは、幼いころを思い出し口ずさんでいる人もありました。星めぐりのうたで、6月に東日本大震災被災地の岩手を訪れた時、お互いがお互いを思いやる心・感謝の気持ちで日々の生活が絆で結ばれている皆さんの様子を交えながらの演奏でした。他にも、歌謡曲・民謡・クラシックの演奏がありシンセサイザーの音色が、癒しの時を過ごさせてくれ明日への活力につながる事ができました。(S・S)



11月27日◎.....●寿司の握り方、魚のさばき方教室



「寿司の握り方・魚のさばき方教室」が新湊地区でありました。包丁を使ったことのない男性が講師の指導のもと、ふくらぎの三枚おろしに挑戦しました。はじめてとは思えないほどきれいに出来ました。包丁の入れ方次第でこんなにもイキイキとした刺身になるのだなと感じました。

さばいた魚は握り寿司となり、美味しくいただきました。この体験を機に、男性も家事に参加するようになればいいと思いました。(H・M)

魚のさばき方教室 ●

2月21日



ふたくちコミュニティセンターにて、男性料理教室「魚のさばき方」を開催。60才以上、15名参加。講師を迎え、ほとんどが初めての魚の捌き方に四苦八苦。50～60センチのふくらぎを三枚におろし、皮を引き中骨を落とし刺身にしました。なかには背骨にも皮にも身が沢山付き、大笑い。魚の頭と骨もお味噌汁に全て無駄なく食べつくしました。

食改の方より、簡単に作れる和え物も習い、ご飯も炊いてみんなでお刺身・お味噌汁・キャベツと竹輪の胡麻酢和えなどをわいわいがやがや楽しくおいしく頂きました。これからは魚が来ても大丈夫。いろんな料理を教えてください。これからは家族にも作ってあげたい。(M・M)

かんたんArt教室 ●

2月25日

五感で感じた色を自由な発想で表現する臨床美術。認知症予防や右脳活性化にも効果があるといわれています。最初は緊張していた人も、どんどん自分らしい色を重ねておられました。

上手も下手も関係なく、子供も大人も楽しみながら自分だけの作品を仕上げていく。最後まで、どんな作品になるのかわからない。いろんな角度から見て、それぞれの個性を見つけ出し、理解し合う。年齢を気にせず、誰でも出来るコミュニケーション。「またやりたい」「楽しかった」という声が聞けて良かったと思いました。塚原地区(N・H)



健康体操教室 ●

2月25日



小杉支部では、大江地区の健康体操と一緒に参加して啓発活動を実施しました。赤井美佐子氏を講師に、まずは手の平をグーにしたりパーにしたり。次第にその手を前に出したり後ろに引いたり、足でもリズムをとり、もちろん大きな声でかけ声をかけたり歌ったり。手先から始まったのに、いつの間にやら大きく体全体を使い汗をかくほどの運動になりました。先生のユーモラスたっぷりの話術に乗せられ終始笑いに包まれていました。

今回は地区のヘルスポアンティアや体協の方々の参加もあり、男性も女性も、老いも若きも一堂に、次から次へと気を抜く暇もないくらい運動に集中し楽しい時間を共有できました。“男女共同参画”とはまさにこのような姿なんだろうなあととても温かい気持ちになりました。(H・T)

啓発活動



5月 凧まつり



6月 男女共同参画週間



1月 DV防止週間

研 修 会 報 告

12月19日① 氷見市推進員との意見交換会



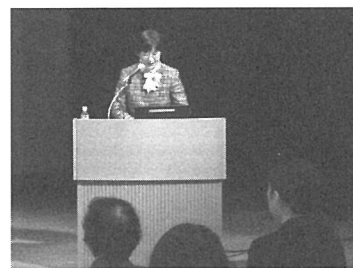
活発な意見交換ができました。今後もこのような機会をつくり、情報交換をしていきたいです。

2月12日② 高岡地区男女共同参画推進委員地域別研修会

演題：「男女共同参画とは？」

講師：大工原 ちなみ 氏（富山大学人文学部長）

大工原氏からは世界から見た日本の男女共同参画、女性の活躍について、男女共同参画の取組の3点についてお話がありました。特に女性の活躍では、なぜ女性管理職が少ないのかについて、女性が管理職に就くことを希望しないことを挙げ、女性が管理職になるメリットを大工原氏の実体験を交えて教えていただきました。女性活躍推進法が策定され、女性の活躍が期待されている今、各分野で能力を発揮できる女性が増えてほしいと感じました。



2月21日③ DV研修会

演題：「DV・ストーカーについて」

講師：射水警察署 生活安全課長

「実際に私たちがDVやストーカーの被害に遭ったり、被害者から相談を受けたときに何をすべきなのか。」これを知っていなければ、自分や被害者を救うことはできません。今回の研修会では、どんな些細なことであっても警察に相談すること、DVやストーカーが被害者を苦しめ、最悪の場合殺人にまで発展することを学びました。最近、ニュースを賑わせる恐ろしいDVやストーカーは他人事ではありません。自分や被害者を救うためにも、DVやストーカーが身近で起こり得ることを理解し、今後の啓発活動に力を入れていきたいと思いました。



地区、推進委員名（敬称略）

新湊地区	金谷 勝喜、姫野美和子、油野美年子、桶谷美喜子、灘 幸代、三島 久幸、中西比呂子、宮腰 賢三、大坪 克史、山科 悦子、高林 一登、出戸 明美、朽木 隆、瀬山 和子、竹村 昌子、五十嵐環樹、酒造 力、関原真知子
小杉地区	松長 睦、高田千代子、高松 俊夫、宿谷美由起、山崎 良子、古城 史子、西田 順子、菅 文雄、山田満貴子、太田千鶴子
大門地区	小林 茂子、江尻美恵子、前手 政幸、森田ひとみ、松本 吉晴、山崎 京子
大島地区	草野 信正、杉岡美恵子、宮島 一美
下地区	近藤 美雪、島倉 静子

編 集 後 記

熊本大分地震・大雨・大雪など自然災害の恐ろしさをまたしても、思い知らされた1年でした。被災地には、多くのボランティアの方々の分け隔てのない活躍があります。男女が家庭・職場・地域等の社会のあらゆる分野で、個性や能力を十分発揮できるような環境づくりの啓発活動をこれからも行っていきたいと思ひます。（S・S）